

未来に羽ばたけ若人			
久が原地区 管内	人口	男	12,443人
		女	13,014人
		計	25,657人
	世帯	11,430世帯	
平成16年12月1日現在			

くがはら

発行：わがまち大田久が原地区
推進委員会
編集：地域情報紙「くがはら」
編集委員会
事務局：大田区久が原特別出張所
〒146-0085 大田区久が原4-12-10
TEL (3752) 4271
FAX (3752) 4514
題字：三木兼吉

明けましておめでとうござい
ます。
皆様にはお元気で新年をお
迎えのこととお喜び申し上げ
ます。日頃は、各地区の自治
会に対し、温かいご理解、ご
協力を頂き誠に有り難うござ
います。今年も変わらぬご支
援、ご協力をお願い申し上げ
ます。

さて、昨年の日本列島は、
かつてない大規模な災害に見
舞われました。相次ぐ大型台
風が、しかも日本列島縦断が
多く、各地に甚大な被害をも
たらし、その上さらに、新潟
県中越地区を襲った大地震で
す。コシヒカリで有名な米所
泳ぐ宝石といわれる錦鯉の里
が壊滅状態に陥ったことは誠
に悲惨であり、被災地の皆さ
んの心境を思うとお気の毒の

新年のごあいさつ
久が原地区
自治会連合会会長
松田 清



一語につきます。この上は一
日も早い復旧を心から祈るば
かりです。
今年こそ天災、犯罪の少な
い明るいうちに是非したいもの
です。
皆様方のご繁栄、ご健勝を
心より祈念申し上げます。新年の
ごあいさつと致します。
久が原東自治会長 天野 重夫
久が原西自治会長 松田 清
久が原南自治会長 佐々木 琢磨
道々橋自治会長 醍醐 精一
ヒルズ久が原自治会長 山本 竜三郎

久が原流建物探訪
まちなの新名所をめざして

柳の交番となり、船か新
幹線のイメージの建物があり
ます。「久が原のゲストハウ
ス」として、海外からの短期
滞在者や外国の方との交流を
したいという日本人が入居し
ています。
オーナーの小山さん、設計
者の太田さん(デザインヌー

ブ一級建築士事務所)にお会
いし、お話を伺いました。
この建物を設計するにあた
りオーナーから次の課題が与
えられました。
①みんなが記念写真を撮りた
くなるような建物であること
②街の活性化に寄与する建物
であること
③街に新しい住民を呼ぶこと
設計にあたっては「角地建
物」の理想を求めて海外の調
査をしたり、地元の方の多く
の方々にアンケートをいただい
たりし、オーナーや関係者、
設計者による議論を重ねまし
た。この結果一外国からの留
学生のためのゲストハウス」
として共用キッチン、共用ス

成人の日によせて
『グッドラック成人』
芳賀桃子

幼い頃、叶えたい夢がたく
さんあった。大人になり、夢
が叶った自分をいつも想像し
ていた。あの頃は、二十歳に
なり成人式を迎えれば大人に
なれるのだと思っていた。大
人になれば夢は叶うのだと思
っていた。でも、それは違う。
大人とは、自分の考えを持
ち、自分の意志で行動できる
人だと思ふ。また、物事を成
し遂げる時に、自分に打ち勝
つ力を持っている人だと思
う。それは、夢を形にするた
めにも必要な力だ。

成人だもの
大峰広宣

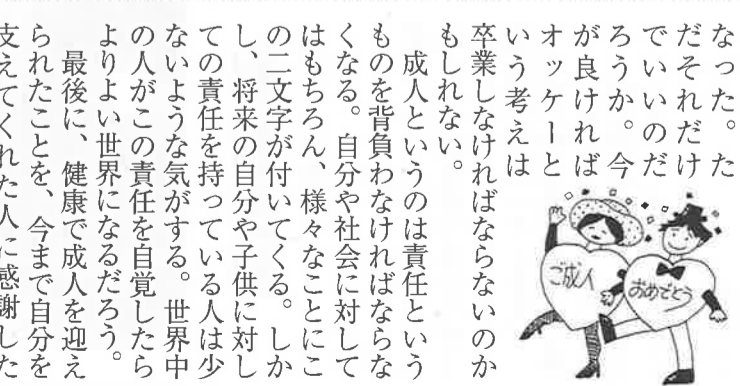
ケニアのことわざにこのよ
うな言葉がある。
「地球を大切にしないさい。そ
れは、親からもらったもので
はなく、子供たちから借りて
いるものだから。」
成人を迎えた今、昔読んだ
本に書いてあったこの言葉が
ふと浮かんだ。僕らは成人に

大切なのは、日々常に物事
を考え、何事も最後まで投げ
出さずに努力すること。それ
を積み重ねることがきつと、
私の力になると信じて、くじ
けそうなことがあっても、今
まで頑張ってきた。
成人式を迎えた今、私は大
人という存在に近づいている
のだろうか。叶えたい夢を形
にできているのだろうか。漠
然とした不安はいつまでも尽
きない。だからこそ、その不
安を払うためにも、今ここか
ら、また頑張ろうと思った。

ペースを道路側に置き、通行
人・歩行者とのふれあいが出
来るような設計としました。
南側は道路拡張の計画がある
ため建物の先端部は撤去可能
な構造とし、当分の間(道路
拡張実施時まで)は街のラン
ドマークとして親しまれるよ
う、船とも新幹線とも見える
形として一見ユーモラスな建
物としました。
オーナーの専用住宅と九室
の集合住宅とし、米国、カナ
ダ、シンガポールからの外国
人と日本人とがオーナーを中
心として新しいコミュニティ
Iを作り上げていきます。入居
者が地域住民の一人として地
域の諸行事や地域との交流が

なった。た
だそれだけ
でいいのだ
ろうか。今
が良ければ
オッケーと
いう考えは
卒業しなけ
ればならな
いのか
成人というのは責任とい
うものを背負わなければなら
なくなる。自分や社会に對し
はもろろん、様々なことにこ
の二文字が付いてくる。しか
し、将来の自分や子供に對し
ての責任を持つている人は少
ないような気がする。世界中
の人がこの責任を自覚した
らよりよい世界になるだろう。
最後に、健康で成人を迎え
られたことを、今まで自分を
支えてくれた人に感謝した
い。ありがとう。そして、これ
からも宜しくお願いします。

出てくるよう情報を揃え揭示
しており、地域と世界をつなぐ
基地となる事を願っております。
(小原洪一)



イベント情報

- 久が原東自治会新年懇親会
【実施日】1月8日(土)12時～
【場所】久が原東部八幡神社
 - 久が原西自治会新年懇親会
【実施日】1月9日(土)13時～
【場所】久が原会館
 - くがはら冬まつり
【実施日】1月23日(日)10時～
【場所】久原小学校
 - 道々橋自治会新年懇親会
【実施日】1月30日(日)
【場所】山梨県甲府市武田神社
 - もちつき大会
【実施日】1月30日(日)10時～
【場所】松仙小学校
 - 青少対子どもレク大会
【実施日】3月5日(土)9時30分～
【場所】大森第十中学校
- 以上詳しくは
久が原特別出張所まで
(3752)4271



「論語」や「大学」などの本

この金次郎少年がなぜ小学校に在るのでしょうか。金次郎少年は裕福な農家に生まれましたが、十五歳前後に両親を次々に亡くし、叔父さんの家に預けられました。そして、夜になると灯りをともして、

これ、なんだろう？ 「二宮金次郎」の像

江戸時代後期農村復興の指導者



皆さんこの像に見覚えありませんか。そうです二宮金次郎です。この像はいまでも久原小学校体育館の隣で毎日薪を背負って働きながら勉強しています。時々、誰かにぶつかるのではと考えがちですが、像を見てわかるようにマゲを結っていますので交通量も少なく事故にも遭わなかったようです。

を読んで勉強していましたが、叔父さんに百姓に勉強はいらぬと叱られ、しかたなく昼間に写真のように薪を背負って仕事をしながら勉強したそうです。

やがて独立して、勤勉と儉約に努め、実家をもとの裕福な農家に再興しました。これを知った小田原藩士服部家より、財政の建て直しを頼まれ見事成功しました。次に、小田原藩領下野核町の荒れた土地の再興に成功し、この時武士の位をもらい、名前も二宮尊徳と改められました。この後、色々などところから再興を頼まれ、その数は、六百件以上といわれています。

明治時代になり、勤勉と儉約の考えが、小学校の理想・手本としてふさわしいと考えられ、全国の小学校に建てられたという事です。大田区内小学校で金次郎の像が存続するのは十校です。小学生には遊び学ぼうと、年配の方には昔話をしようと語りかけているようです。(小倉 敦司)

運転中は絶対ダメ!



依然として増加傾向にある交通事故を防止し、安全で快適な交通環境の整備を行っていくため、道路交通法の一部を改正する法律(改正道路交通法)が、昨年(平成十八年)六月九日に公布され、十一月一日に施行されました。中でも最も身近な「運転中の携帯電話の使用」に対する罰則規定の見直しを、改めて再確認してみたいと思います。

自動車や原動機付自転車の運転中における携帯電話の使用については、すでに平成十一年の道路交通法改正によって走行中の使用(通話、メールの送信など)が禁止され、これに違反したことによって「道路における交通の危険を生じた場合」に限り罰則の対象となっていました。今回の改正で「手に持った通話したり、メール送信などのために画面を注視した者は、交通の危険が生じない場合でも五万円以下の罰金が科せられる」とこととなりました。ちなみに施行された十一月一日、全国で約三千六百人ものドライバーが摘発され、うち二人が逮捕されました。大きな事故にもつながる可能性が多い中、一人

防犯・防災シリーズ⑩

運転中の携帯電話はNO!

通話・メールの送信などの禁止



久が原の人シリーズ⑪ とうじよしみつ 田路良光さん 化学品メーカー勤務から 小学校教師に転身



昨年4月から松仙小学校の4年生担任として勤務しています。3月までは、化学品メーカーに勤務していました。大学は教員養成系の学部を出て、教育実習も経験しました。そのときの思い出が非常に強く、いつか教員に・・という、憧れに似た気持ちを抱きつつ、その一方、会社では自分がどこまで出来るのかを会社で試してみたいとも思っています。これまでいろいろな経験をさせてきました。

最初の1年は栃木県にある工場で製造現場実習となり、三交替勤務で反射シート(道路標識などに使われます)の製造に携わりました。冬の深夜勤務はとても寒く、また寂し

一人がルールを守り、車に乗ったら電源を切るなど意識を持って安全運転を心がけました。(山野 不二子)

久が原十選 応募ありがとうございました 皆様の投票で入賞を決定

一昨年(平成十五年)七月より募集しておりました写真や絵画による久が原の町を代

表する作品が、写真十五点(四十四枚)、絵画八枚(久原小学校児童作品)が寄せられました。これらの作品は久が原特別出張所の展示コーナーに掲示し、多くの方々に投票いただき、上位十位を決めます。出張所にご来所の折にはご覧いただき投票いただけますようお願いします。

▼展示期間
平成十七年一月十七日～
三月三十一日

社会人経験はあるものの、教師としてはあくまでも1年目です。頭を切り替え、いろいろ新しく吸収していかねばならないのですが、なかなかうまく切り替えられず、苦心しています。

とくに採用1年目には、定められた「初任者研修」を受けなければなりません。そんな大変な日々ですが、子どもたちの笑顔や、「わかったよ先生」という言葉がうれしくて、やはり教師になって良かったな、と感じています。これまでの経験を生かし、努力してまいります。地域の皆様のご理解ご協力を、よろしくお願いいたします。



編集後記

あけましておめでとう

今年も、頼もしい新成人に登場いただきました。大人としての自覚を持つ気持ち十分に伝わります。これからの御活躍を期待いたします。

地域の情報発信源として皆様の御期待に応えられるよう、編集委員全員さらに努力いたします。本年もよろしくお祈りいたします。

(おぼら)